

授業の教室配当って大変！！



教室配当システムってけっこう評判いいみたいじゃない。

そもそもなんで開発したんだっけ？

もともとはある大学に聞いたんですが、毎年度、**各授業を、どの教室で行うか、**大学の担当者が**割り当て**する業務があるらしいんです。

これが大変で、数名の大学の担当者が数日間かけて、行っているらしいんです。
累計で数100時間以上かけているところもあるみたいなんですよ。

でもそれって毎年負担が大きいからなんとかならないの？
ということで自動割り当てするシステムとして開発しました。



俺ってカッコイイ！

髭が濃いな



そんなに時間かけてるんだ。
確かにそれは大変だね。

今年はコロナの影響があるからどうなんだろうね。

《他はどうしているのだろうか？》

どうやら大学ごとに教室の割り当てルールってあるらしいんですね。

「特定の機材がある部屋を使う」とか
「2時間続けて同じ教室を使う」とか
「授業間の移動時間を何分以内にする」とか。

だから、そういったルールをもとに、自動化させますね。



優先しなきゃならない先生

もいらっしやるだろうし、
大学の担当者は調整大変だろうね。

本当にそうですね。

ちなみにシステムで、ある程度の自動化はできますが、
最後はシステムからExcelで吐き出して、
大学の担当手で手直して頂くイメージになりますね。

その方が大学の担当者も安心でしょうし。

ルールができれば、翌年度以降は
前年ベースでやればいい
ので、かなり楽になると思いますよ。



ピカ
いる？



それはいいね。

教室だけじゃなくて、ルール化できるもの
であれば割り当てできるってことでしょ？
他にも応用できるものありそうだね。

サービス詳細は下記ページへ！

<https://www.sra-tohoku.co.jp/generator/>

《他はどうしているのだろうか？》